

2年言語と文学 (MYP 3 Language and literature) 【国語：4単位】

科目のねらい

MYP「言語と文学」のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・言語を思考、創造性、振り返り、学習、自己表現、分析、および社会的な相互作用の手段として利用する。
- ・さまざまな文脈で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、見ること、発表することに関わるスキルを身につける。
- ・文学および非文学のテキストを学習し分析することへの、批判的で創造的で個人的なアプローチを探究する。
- ・歴史上のいろいろな時代とさまざまな文化のテキストに取り組む。
- ・文学および非文学のテキストを通して、自分の母国や現在住んでいる国の文化、その他の文化を探究し、分析する。
- ・多様なメディアや伝達様式（モード）を通して言語を探究する。
- ・生涯にわたる読書への関心を育む。
- ・実際のさまざまな文脈において、言語的・文学的な概念とスキルを応用する。

目標および評価規準

MYP 評価観点	
A: 分析	i) テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル（文体）と、複数のテキスト間の関係性を特定し説明する。
	ii) 作者の選択が、受け手に与える効果を特定し説明する。
	iii) 例、説明、用語を用いて、意見や考えの理由を述べる。
	iv) ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を解釈する。
B: 構成	i) 文脈と意図に応じた組織的構造を使用する。
	ii) 意見や考えを、持続的で一貫性のある、論理的な方法で整理する。
	iii) 参照と形式化のツールを利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する。
C: 創作	i) 創造的プロセスへの個人的な関わりから生じる新しいものの見方やアイデアを探究し検討しながら、思考、想像力、感受性を示すテキストを創作する。
	ii) 言語的、文学的、視覚的な表現の観点から、受け手に与える影響を認識したスタイル（文体）を選択する。
	iii) アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を選び出す。
D: 言語の使用	i) 適切で多様な語彙、構文、表現形式を使用する。
	ii) 適切な言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）で書き、話す。
	iii) 正しい文法、統語法、句読法を用いる。
	iv) 正確に綴り（アルファベット言語）、書き（文字言語）、発音する。
	v) 適切な非言語的コミュニケーション技法を利用する。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Language and literature guide」に基づいています。

関連概念（言語と文学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手側の受容	登場人物	文脈	ジャンル
テキスト間の関連性	視点	目的	自己表現
設定	構成	スタイル(文体)	テーマ

※目標と評価規準は MYP 国語 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 変化 2. 個人的表現と文化的表現 3. 批判的思考	言葉の変化 知識・技能 第2学年(1)ア・イ・オ 第3学年(1)ウ(3)ウ 思考・判断・表現 B第2学年ア・イ・ウ・エ・オ 文法・漢字・振り返り(教科書)	レポート「若者語や誤用の文法的分析」 【A】文法用語を用いて、若者語や誤用とされる語例について、文法的性質や発生経緯などについて分析、考察する。 【B】適切な具体例を挙げ、構成を整えて書く。 【D】文字や文を正しく整えて書く。ふさわしい語彙を使いこなす。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-A、B ③主体的に学習に取り組む態度-A 2. C-17
	2	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション	詩歌 知識技能 第1学年(1)オ 第2学年(1)ア・イ・エ(2)ア 第3学年(1)イ・ウ 思考判断表現 B第2学年ア・イ・ウ・エ・オ C第2学年ア・イ・エ・オ 谷川俊太郎 『詩ってなんだろう』等	詩歌の創作とコメントリー 【A】作品の表現にこめられた意図を、説得力をもって説明する。 【C】様々な技法を用いたり独自性のある表現を試みたりする。詩の分析においても、着眼や解釈の構築に独自性を発揮する。 【D】文字や文を正しく整えて書く。創作において意図的な言語表現を選択する場合は、コメントリーにおいてその詳細と効果を説明する。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. D-21
	3	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. 創造的思考	文学批評 ～モチーフとエピソード～ 知識・技能 第2学年 (1)イ・エ(2)ア・イ(3)エ 第3学年 (1)ウ 思考・判断・表現 B第2学年イ・ウ・エ・オ C第2学年ア・イ・エ・オ 椎名誠「アイスプラネット」三浦哲郎「盆土産」(教科書)等	文学作品の構造化と論評 【A】文学批評用語を正しく使いこなして作品を分析する。作品の構造を的確にとらえて図式化するとともに、モチーフやエピソードの効果や役割を説明する。 【B】表現を根拠とした分析批評を行う。作品の特徴を複数取り上げて、その関連からテーマの解釈に導く。 【C】読み手としての独創性を示す。説得力のある新しい解釈を構築する。	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. B-9
後期 (10月～3月)	4	1. 論理 2. 公平性と発展 3. 転移	論理的思考・論理的表現 知識・技能 第2学年(1)ア・イ・エ(2)ア・イ 思考・判断・表現 A第2学年ア・イ・ウ・エ・オ C第2学年ア・イ・ウ・エ・オ 安田喜憲「モアイは語る—地球の未来—」(教科書) 動画「e-Education」等	提言「より良い世界を目指して II」 【B】アイデアが論理的であることを示す。効果を考え構成する。 【C】アイデアや説得するための具体例などにおいて独創性を示す。 【D】場にふさわしく受け手を考慮した言葉遣いを用いる。言語以外のコミュニケーション手段を効果的に用いる。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-12
	EX	1. アイデンティティ 2. アイデンティティと関係性 3. 振り返り	漢文 知識・技能 第2学年(3)ア・イ・エ 第3学年(1)イ(3)ア・イ・ウ・エ 思考・判断・表現 B第2学年ア・イ・ウ・エ・オ	論語と自己表現 この UNIT は評価対象ではありません。	1. ①知識・技能-なし ②思考・判断・表現-なし ③主体的に学習に取り組む態度-なし 2. D-22

※〔知識及び技能〕(1)語彙・漢字・言葉遣い(2)情報(3)書写・読書の内容については、上記に示されていない場合も適宜取り扱う